



菅波 茂

97.8.7

岡山国際ホテルにて先月、岡山経済同友会主催のマハティール首相と語り合う会があり、貴重な発言の機会を与えられて感謝している。首相は基調講演で東アジア経済会議の意義を強調した。東アジア経済会議はASEAN諸国に、日本と韓国、中国を加えた地域経済共同体構想であるが、アメリカがはずされることを警戒して実現に反対している。

私は東アジア経済会議の実現に向けての提案をした。「経済の結び付きの前に心の結び付きを考えたい」と。AMD Aは国連認定多国籍医療NGOでアジアを中心に世界に20カ国の支部がある。参加国でアジア多国籍医師団を結成

心の結び付きを

して緊急人道援助をアフリカ諸国、旧ユーゴスラビアそしてチェンなどでも実施している。結果として私たちの間には信頼と尊敬

が残った。ASEAN地域フォーラムでこのアジア多国籍医師団を支援する正式な組織をつくって頂

きたい。ちなみに岡山で毎年世界のローカルNGOと国際NGOサミットを開催して連携を深めている。O-O軸(岡山-クアラルンプール連携軸)は東アジア経済会議を推進するのに大変役に立つのではないかと。

これに対する首相の答えは次のごとくであった。「今の提案は大変OKだ。現在のマレーシアは医

師が少なくして緊急人道援助に参加出来ないのは残念である。ただしAPECで経済のことばかりでなくこのような心のことについて話し合うことも必要である。次回のバンクバー会議で討論してもいい内容である」と。

日本は今年度の予算で国連開発計画、ユニセフそして国連難民高等弁務官などの国連諸機関への資金貢献を大幅に減らした。資金貢献から人的貢献へのシフトの予兆である。「顔のみえる国民参加型国際貢献」の到来近し。マハティール首相は存在感のある政治家である。彼の「次回バンクバー会議で討論してもいい内容である」との発言は貴重である。人道援助外交を、自信を持って日本外交の柱にしたい。

(アジア医師連絡協議会代表・題字は筆者)